

特色と活力ある学校づくり 山崎小学校

山崎小の学校自慢

山崎小学校は、創立133年を迎え、「明るく、かしこく、たくましく」を校訓に、123人の子どもたちが元気いっぱいに学んでいます。校舎も新しく（築3年）、中に木をふんだんに使い、ぬくもりのある造りになっています。

ここで、山崎小学校の学校自慢をいくつか紹介します。

◆学力をつける学校

学校には、子どもたちが社会の変化に主体的に対応できるように『生きる力』を育成することが課せられています。そのためには、学力を確実に定着させなければなりません。本校では、基礎学力を確実に定着させるために「漢字昇段テスト」「計算テスト」などを年間を通して継続して実践しています。また、個人カルテを活用し、個に応じた支援をしているところです。一方、家庭には「家庭学習の手引き」や「これでカンペキ！山崎ツズ（音読取り組みカード）」を配付し、家庭学習の充実も図っています。

◆一人ひとりを称賛する

「〇〇名人」の授与
子どもたちは、限らない可能性を持っているとともに、長所や得意なこと、継続してがんばっていることがあります。

す。その一人ひとりが持っているよさを認め、さらに伸ばしていこうとする趣旨から、全校集会のときに123人の子どもたち一人ひとりに「〇〇名人」の賞状を授与しています。子どもたちは、自分の得技などを再認識し、自信を持ったことと思います。同時に、各学級には年間を通してがんばったことを称賛する「〇〇大賞」を授与しました。



6年生による土づくり

◆花いっぱい学校

本校は、できるだけ子どもたちが中心となる「花いっぱい運動」を展開しています。種まき、土づくり、仮植、定植、草刈り、花がらつみなどの一連の活動を子どもたちでできるもの、職員員の支援が必要なものに分けて活動し

ています。春には約3,000本のパンジーやデージーが学校を鮮やかにしてくれるはずです。

◆地域に学ぶ学校

今年も地域の素材を活用し、地域の人材に協力いただきながら、「久富木川水質調査」「たけのこ掘り」「椎茸栽培」「田植え」「稲刈り」「竹工作体験学習」などの学習を展開してきました。これらの活動は、PTA・高齢者の方の献身的な御協力をいただき、楽しく有意義な学習になりました。今後さらに人的・文化的・自然的環境とのかかわりを増やしていくことで、郷土を愛し、たくましく生きる力が育まれていくものと確信しています。



足踏脱穀の様子

ガス器具
取りかえないとあぶないよ。



一酸化炭素中毒事故を未然に防ぐために

湯沸器・風呂がまは「不完全燃焼防止装置付」に交換してください。

毎月10日はLPGガス消費者保安デー

不完全燃焼防止装置は、付いていますか？
湯沸器と風呂がま

不完全燃焼防止装置が付いていない湯沸器・風呂がまは、不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故を引き起こすおそれがあります。取り返しのつかない事故が起きる前に、今すぐに不完全燃焼防止装置が付いた湯沸器・風呂がまにお取り替えください。

△換気扇の回数を増やして換気を行う。△「不完全燃焼防止装置付」のシールを確認してください。詳しくはお近くのLPGガス販売店へ。また、下記のホームページでも詳しい情報をご覧いただけます。

鹿児島県総務部消防防災課
(社)鹿児島県エルピーガス協会
<http://www.lpg.or.jp/>